

# まなびの広場

令和4年7月号

## たくさんの応援を受けて運動会・体育祭が開催

爽やかな日差しの中、小・中学校では、たくさんの応援を受けて、運動会や体育祭が開催されました。

知内小学校では、前半（1・3・5年生）と後半（2・4・6年生）に分けて実施され、1・2年生のかわいいダンス、3・4年生の力強いよさこいソーラン、5・6年生のリズムに乗ったキレのいいダンスが見ている人に笑顔と感動を与えました。

涌元小学校では、会場に「大漁旗」がはためく中、やる気満々の児童や少し緊張した顔の児童が懸命にゴールに向かって走る姿や、かわいいダンスを踊った直後にスタートする玉入れ競技など、楽しさ満載でした。

湯ノ里小学校では、「閉校記念大運動会」が児童7名と、たくさんの地域の方たちが参加して行われました。「借りもんGO」では、借り物を必死で探してゴールに飛び込む姿、児童全員と地域の大人チームが対戦した全員リレーでは、児童チームが昨年の雪辱を果たし勝利に沸く姿がとてもほほえましく感じました。

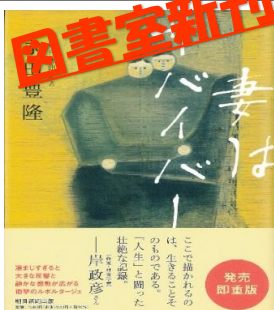
応援の方たち全員が参加した「シン・ウルトラクイズ」では、湯ノ里小学校に関する問題が出され、「むずかし〜。そんなの分かる訳ないよ〜！」の声で爆笑がおこるなど、笑顔満開の心温まる運動会でした。

知内中学校では、生徒が企画し、「努来勝（どっこいしょ）」（努力すれば勝利が来る）のスローガンの下、一生懸命さとユーモアのまじりあった3年生にとっては初めての保護者の声援を受けての体育祭でした。

コロナ禍の中ではありましたが、たくさんの応援の中でのにぎやかな運動会・体育祭は、やはり最高ですね。皆さん終始笑顔の一日でした。私の子どもの頃は、お昼に食べる“ごちそう”も楽しみの一つでした。

教育長 堂下 則昭

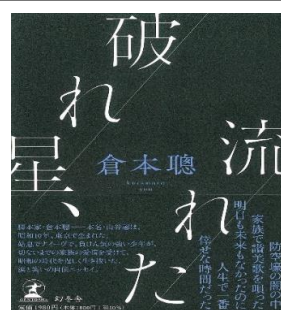
### 図書室新刊情報



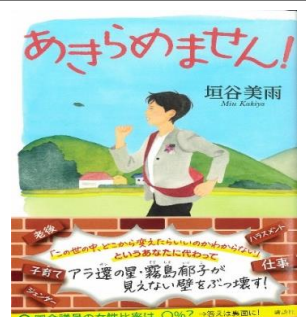
**妻はサイバー／永田豊隆**  
ここで描かれるのは、生きることそのものである。「人生」と闘った壮絶な記録。凄まじすぎる大きな反響と静かな感動が広がる衝撃のルポルタージュ



**人生、山あり谷あり家族あり／岸田ひろ実**  
私の車椅子を押してくれるめっちゃ明るいダウン症の息子、大活躍の頼れる娘、口癖は「あほちゃうか」の天国の夫…  
何があっても家族4人で今日もご機嫌！



**破れ星、流れた／倉本 聡**  
脚本家・倉本聡＝本名・山谷馨は、昭和10年、東京で生まれた。姑息でナイーブで、負けん気の強い少年が、切ないまでの家族の愛情を受けて、昭和の時代を逞しく生き抜いた、涙と笑いの自伝エッセイ。



**あきらめません！／垣谷美雨**  
「この世の中、どこから変えたらいいのかわからない」というあなたに代わって アラ還の星・霧島郁子が見えない壁をぶっ壊す！

## 「知内町地域学校協働本部」の 活動が活発に行われています

地域の教育力を学校教育に生かそうと、社会教育委員の会が昨年度発足させた「知内町地域学校協働本部」の活動が活発に行われています。6月6日と16日の2回に分けて行われた知内中学校の授業では、漁業者や商工業者など7名の町民が教壇に立ち、町の産業について授業を行いました。また、6月21日に行われた、知内高等学校の「ふるさと調理実習」では町民2名が講師となり地元の食材を使って屋外での調理実習を行いました。



6月16日：知内中学校における授業  
「知内町の産業について」



6月21日：知内高等学校の  
「ふるさと調理実習」

公民館講座

ドラム教室・アコギ教室

受講者募集!

町民の生きがいや趣味づくりのため、ドラム教室・アコースティックギター教室を開催しています。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、大人数でのレッスンは行わず、個人レッスンを希望のある都度実施します。楽器は主催者側で用意しております。初めての方も、お気軽にご参加ください。

<第1回目>

日 程：令和4年6月17日（金）

内 容：ドラム教室を開催しました

申 込：教育委員会社会教育係までお申し込み  
ください。TEL:(5-6855)



## 公民館講座『手話教室』 を開催しました

障がい者の方々の立場やご苦勞を知って理解することと、障がいを持っている方々に対して自分達に何ができるかを学ぶきっかけとなることを目指し、函館聴覚障がい者協会と函館手話通訳問題研究会の方々を講師に「手話教室」を開催しました。

